

福生三中だより

令和6年12月24日発行 No.8

福生市立福生第三中学校

学校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
- 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
- 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
- 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒

校訓 礼節

「世のため・人のため・お互い様」

校長 増木 一仁

二学期も残り1日となりました。9月の2年職場体験をはじめとして、3年修学旅行、音楽会と行事も多かった2学期。保護者・地域の皆様のご支援、ご協力のもと生徒たちは様々な体験、経験を通して大きく成長できたように思います。本当にいつも温かく見守っていただきありがとうございます。

さて、10月から12月にかけて生徒会が中心になり保護者や地域の方々と共に、ボランティア活動の取り組みを行いました。福生市総合防災訓練から始まり、七五三あいさつ運動、富士見公園清掃、四地区水防災訓練、落葉掃き清掃と回を重ねるにつれて参加生徒も多くなり、とてもうれしく思います。

ボランティアという日本では「無償」という部分が連想されがちですが、英語の「volunteer」には「無償」という意味はなく、17世紀半ばには自分たちの町や村を守る「自警団」に参加する人々をボランティアと呼んでいたそうです。さらに18世紀になると、軍隊に自分から進んで入る「志願兵」のことをボランティアと呼ぶようになったそうです。「自ら進んで」「自発的に」などの意味合いの言葉だそうです。人や社会のために、見返りを求めず善意でという意味から日本では「無償」の意味合いが強くなっていると考えられます。

「困っている人がいたら自ら手を差し伸べる。」

「社会で何か必要とされることがあれば自ら買って出る。」

「みんなで何かをしようとなったときに自ら率先して参加する。」

「それはお互い様だから。」

このような心意気を持った大人になってほしいと改めて思います。

充実した2学期、保護者の皆様や地域の皆様のご理解・ご協力で教職員一同感謝申し上げます。2025年もどうぞよろしくお願いいたします。

笑顔と学びの体験プロジェクト

11月26日(火)の3,4校時、笑顔と学びの体験プロジェクトを開催しました。縦割りで41チームをつくり、初対面のメンバーと力を合わせて「謎解き」に挑戦しました。



11月24日(日)老人会のお手伝いで学校の近くの富士見公園で有志生徒32名と教員で、落ち葉掃き・草むしりを行い、楽しいひと時を過ごすことができました。



薬物乱用防止教室

11月28日(木)の6校時、2年生は東京福生ライオンズクラブの皆様を講師にお招きし薬物乱用防止教室を開催しました。



四地区合同水・防災訓練への参加

11月30日(土)明神下公園で行われた水・防災訓練に有志生徒35名と教職員で参加しました。生徒会役員は、受付や開閉会の補助、仕分け等を行いました。



落ち葉掃き

11月22日(金)、12月5日(水)落ち葉掃きがあり、2日間合計130名以上の生徒と、CS委員の方に御参加いただきました。校内とせせらぎ通りに分かれて作業し、とてもきれいになりました。

